

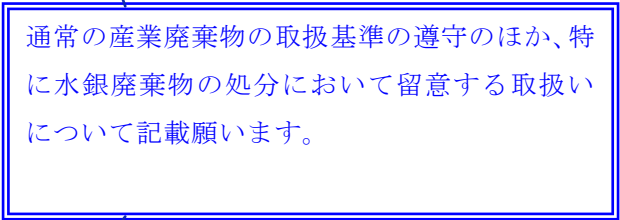
環境保全措置

(1) 中間処理施設において講ずる措置

騒音、振動の少ない機械を設置し、騒音、振動防止に努めること。

粉じんの飛散が予想される場合は、散水を行い、飛散の防止に努めること。

処分時、大気中に飛散しないよう、集じん装置を備えた密閉型施設を用いること。



通常産業廃棄物の取扱基準の遵守のほか、特に水銀廃棄物の処分において留意する取扱いについて記載願います。

(2) 保管施設において講ずる措置

保管期間を超えて長期期間保管せず、速やかに処分すること。

保管する産業廃棄物が飛散・揮発しないよう、シートをかぶせること。

また、流出、地下浸透したりしないよう、床面はコンクリート張りとする。

(3) 最終処分場において講ずる措置

安定型処分場においては、定められた品目以外の廃棄物は搬入しないこと。

液状の物は埋立てしないこと。